

区分	担当課	評価	評価の説明
1 人にやさしい安全・安心なまちづくり			
(1) 除雪計画に基づき、除排雪作業の効率的かつ効果的な実施に努める。			
<p>除雪計画に基づき、冬期間の円滑な道路交通の確保や快適な生活空間を確保し、安全で安心な市民生活や経済活動が維持できるよう、効率的かつ効果的な除排雪作業の実施に努める。</p>	道路管理課	B	<ul style="list-style-type: none"> ・業者用・市民用・地域住民用の各雪捨て場の迅速な開設に努めるとともに、円滑な除排雪作業に努めた。
<p>平成30年度に拡充したスノーボランティアプログラム制度について、引き続き実施団体の増加に努める。</p>		B	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度から継続して実施している当制度の維持を図るため、継続して小型除雪機操作講習会を開催している。 ・令和2年度は102団体が制度を利用し、延べ949回、248人による活動を協働で行った。
(2) 災害・異常気象時に迅速な対応を行える体制の整備を推進する。			
<p>関係機関と連携し、災害に即応できる体制維持を図る。</p>	道路管理課 道路建設課 公園河川管理課 公園河川整備課	B	<ul style="list-style-type: none"> ・平成23年度に締結した防災協定に基づき、災害時に対応できる体制維持を図った。
(3) 市民に身近な生活道路および河川・排水路の整備を推進する。			
<p>「舗装修繕計画」および「ロードヒーティング更新・修繕についての方針」等に基づき計画的・効率的な整備を進める。 氾濫・溢水等による被害を未然に防止するため、河川改修・排水路を整備する。</p>	道路建設課 公園河川整備課	B	<ul style="list-style-type: none"> ・策定した計画等に基づき、計画的かつ効率的に整備を進めた。 ・河川改修について、大雨等により崩壊した箇所の改修や補修を実施したほか、老朽化が著しい箇所の補修を行った。
(4) 橋梁の長寿命化のため計画的な維持管理に努める。			
<p>長寿命化修繕計画に沿って、計画的な修繕・架替を継続して実施していく。</p>	道路建設課	B	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度に改訂した橋梁長寿命化計画に基づき、計画的な修繕等を実施した。
2 水や緑が豊かで快適な空間の提供			
(1) 観光都市函館にふさわしい景観を備えたまちづくりを推進するため、道路や函館山などの整備を推進する。			
<p>緑あふれる美しい街並みをつくるための道路整備や、「函館山緑地遊歩道整備計画」に基づき、函館山整備を推進する。</p>	道路建設課 公園河川整備課	B	<ul style="list-style-type: none"> ・市道西部臨港通や若松6号線、末広11号線の整備が完了した。 ・湯の川地区の活性化を図るべく、歩道の美装化や街路灯の設置等の設計を行い、令和3年4月から工事を行う。 ・函館山の整備を推進するため、「函館山緑地遊歩道整備計画」に基づき、遊歩道整備および、落石防護柵の増設を実施した。
(2) 緑の育成と保全を図るため、市と市民が一体となって緑化を推進する。			
<p>緑化審議会や緑のパートナー会議、市民等の意見を聞きながら「函館市緑の基本計画」の施策を推進する。</p>	公園河川管理課 公園河川整備課	B	<ul style="list-style-type: none"> ・緑のパートナー会議を開催し、函館山の整備に意見を反映させた。

区分	担当課	評価	評価の説明
<p>(3) 子どもや高齢者をはじめ、誰もが快適に公園を利用できるよう整備を推進する。</p>			
<p>公園施設長寿命化計画に沿って、計画的な改築・更新を図るとともに、都市公園の遊具施設等の安全を確保する。</p>	公園河川整備課	B	<ul style="list-style-type: none"> 都市公園の老朽化した遊具施設の改築、更新を行った。
<p>(4) 道路等の草刈りなど維持管理の徹底を図るとともに、美化活動を推進する。</p>			
<p>公園の草刈り、公園樹木の剪定のほか、観光地や中心市街地に重点を置いた市道の草刈り、雑草の除去を行う。 駅前広場は、引き続き色彩豊かな草花による花壇の内容充実を図り、まちの魅力をさらに高め、市民等が何度でも訪れたい空間の創出を図る。 町会等、地域と協働した道路等の清掃、美化活動を推進するため計画的に取り組む。</p>	道路管理課 公園河川管理課	B	<ul style="list-style-type: none"> 公園の草刈り、公園樹木の剪定を実施したほか、観光地や中心市街地に重点を置いた市道の草刈り、雑草の除去を実施し、都市環境の向上と環境美化に努めた。 駅前広場の魅力向上のため、色彩豊かな草花による花壇整備を実施した。
<p>3 広域交流ネットワークの形成</p>			
<p>(1) 圏域相互の連携強化を図り、広域幹線道路の整備を促進する。</p>			
<p>圏域間の連携・交流を強化し、情報共有を図るとともに、国と調整をしながら、要望活動の強化をはじめ、未事業化路線の早期採択に向けた圏域間調整を積極的に行う。</p>	新外環状道路整備推進室	B	<ul style="list-style-type: none"> 国交省、開発局および北海道に対して整備促進を図るための要望活動を実施した。 整備促進に向けた啓発活動を実施した。
<p>(2) 市内交通環境の抜本的な改善のため、函館新外環状道路の整備を促進する。</p>			
<p>事業が円滑に行われるための支援として、地元調整をはじめ、工事実施に伴う諸課題に事業者とともに取り組むなど事業の進捗に努める。</p>	新外環状道路整備推進室	B	<ul style="list-style-type: none"> 事業者である開発局・北海道との連絡調整や協議を随時実施するとともに、地元調整を図るなど事業の進捗に努めた。 令和3年3月28日に、赤川IC～函館空港IC間が開通した。
<p>(3) 函館新外環状道路の整備効果を発現させるため、インター線となるアクセス道路をはじめとした関連道路網の整備を推進・促進する。</p>			
<p>新外全線開通に合わせたインター線の整備をはじめ、主要幹線道路の整備促進のため、道との連携を強化するとともに、国などの関係機関との調整を密に行う。</p>	道路建設課 新外環状道路整備推進室	B	<ul style="list-style-type: none"> 事業者である開発局・北海道との連絡調整や協議を随時実施した。 函館空港ICからのインター線となる道道空港通が開通した。
<p>都市内交通の円滑化を図るため、計画的かつ体系的に幹線市道の整備を推進する。</p>	道路建設課 用地管理課	B	<ul style="list-style-type: none"> 美原交差点や赤川・日吉IC周辺の幹線道路網の整備を進めた。 中道四稜郭通が令和2年度末に開通した。
<p>4 各関係機関との連携と協働</p>			
<p>(1) 土木行政推進のため、行政パートナーである市民や地域との積極的な対話を行う。</p>			
<p>各種会議等の開催時や、日常業務のなかで市民や地域との積極的な対話を行う。</p>	部全体	B	<ul style="list-style-type: none"> 緑のパートナー会議を開催し、函館山の整備に意見を反映させた。

区分	担当課	評価	評価の説明
5 効率的・効果的な組織運営の推進			
(1) より円滑で効率的な組織づくりへの取り組みを継続する。			
引き続き平成30年度からの大幅な組織機構の見直しの検証を行う。	部全体	B	・平成30年度からの大幅な組織機構の見直しの検証を行い、各課が抱える課題解決に向けた協議・検証を行った。
(2) 建設事業、維持管理における経済設計およびコストの縮減や公共事業の評価、審査、監督および検査などチェック機能のレベルアップを図る。			
建設発生土の現場内での再利用の検討	道路建設課 公園河川整備課 道路管理課	B	・建設発生土の現場内や他工事への流用によるコスト縮減に努めたほか、リサイクル資材の利用促進を図った。 ・品確法に基づき、品質確保の観点から総合評価落札方式を活用するほか、適切な設計変更が図られるようガイドラインを策定した。
新工法導入によるコスト縮減の検討 リサイクル資材(再生アスコン・再生骨材)の利用促進および木材等の工事資材への利用促進 品確法の推進(総合評価方式の施行および発注関係事務運用に関する指針への対応)	道路建設課 公園河川整備課 道路管理課	B	
(3) 適切な維持管理計画を立案し、コスト縮減に努めるとともに都市景観の向上と緑化意識の高揚を目指す。			
緑化団体、NPOおよび地域住民と協働して維持管理体制の構築を図る。(沿道花いっぱい運動・ボランティアサポート等)	新外環状道路 整備推進室 公園河川管理課 道路管理課	B	・ボランティアサポートプログラム事業については、新型コロナウイルスの影響により活動の縮小はあったものの、国道5号函館新道や道道空港線など市内への入口となる道路において、植栽活動を実施した。 ・また、町会による沿道花植え前に、植樹樹の草刈りを実施したほか、沿道花いっぱい運動では、沿道町会32団体の協力を得て、22路線の沿道に花を植えた。
(4) 職員の技術的能力は元より総合力を高めるため、各種研修に積極的に参加させる。			
北海道開発局職員研修、北海道建設技術職員専門研修ほか	部全体	B	・コロナ感染拡大防止のため各種研修が中止となるなど、研修参加の機会を得ることが困難だったが、研修資料を取り寄せるなどし、職員の能力向上を図った。